

# 「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」 第2回フォローアップ調査

国立大学協会では、大学の国際化とグローバル人材育成の推進を図るため、2020年までに国立大学が達成すべき数値目標を設定した「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」を2013年3月に取りまとめました。

昨年度に引き続き、第2回目のフォローアップ調査を実施いたしますので、ご多忙中のところ大変恐縮ですが、本調査へのご協力をお願いいたします。

なお、本調査結果は、各大学へ情報提供させていただくとともに、当協会の委員会、文部科学省等への要請のための資料として使用することがありますので、あらかじめご了承願います。

## ●回答方法

太枠の枠内に、ご入力ください。

ご入力いただく内容は、平成26年11月1日現在でお願いします。

ただし、それ以外の時点で、ご回答をお願いしているものもありますのでご注意願います。

〔 注意 シート・セルの変更は行わないでください。  
枠が小さい場合は文字サイズを小さくしてください。〕

大学名

## 1 外国人留学生について

(1) 貴大学の外国人留学生数をご入力ください。

ここでいう「外国人留学生」は、「出入国管理及び難民認定法」別表第1に定める「留学」の在留資格により、我が国の大学（大学院を含む）等において教育を受ける外国人学生を指します。

※ 非正規生（研究生等）も加えた数をご入力ください。

※ 平成26年11月1日の数値の入力が難しい場合は、国大協事務局までご連絡ください。

	平成26年 5月1日現在			平成26年 11月1日現在		
	外国人 留学生 数	学生数 (外国人 留学生含 む)	(%)	外国人 留学生 数	学生数 (外国人 留学生含 む)	(%)
学部						
大学院						
全体	0	0		0	0	

(2) 貴大学の外国人留学生受入れ数の目標値（割合）をご入力ください。

※ 目標値を定めていない場合、あるいは、学部・大学院を分けて目標を定めていない場合等、目標値の入力ができない場合は、その枠に「なし」とご入力ください。

	目標値 (%)	目標値 (人数)
学部		
大学院		
全体		

ご入力いただいた目標値は、何年度までに達成見込みの目標ですか。

(目標値を設定した年度ではなく、何年度までに達成見込みの目標値であるかという質問です。)

西暦  年度

## 2 日本人学生の海外留学について

(1) 貴大学の日本人学生の海外留学者数をご入力ください。

この質問は、日本学生支援機構が実施した「平成26年度留学生調査」の【4】平成25年度日本人学生留学状況調査に準拠しています。以下のURLの記入要領のP27をご覧ください。

[http://www.jasso.go.jp/statistics/intl\\_student/documents/guide26.pdf](http://www.jasso.go.jp/statistics/intl_student/documents/guide26.pdf)

- ・対象期間は、平成25年4月1日～平成26年3月31日に留学を開始したものです。
- ・対象は、日本人学生です。科目等履修生等、非正規の日本人学生も含まれます。
- ・「協定等に基づかない」留学についても、貴大学が把握している日本人学生について、記入をお願いします。

	2週間未満	2週間以上1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上1年6か月未満	1年6か月以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
学部									
大学院									
全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 貴大学の日本人学生の海外留学者数の目標値(割合)をご入力ください。

※ 目標値を定めていない場合、あるいは、学部・大学院を分けて目標を定めていない場合等、目標値の入力ができない場合は、その枠に「なし」とご入力ください

※ 短期、長期別に分けている場合等、下の枠で記入しづらい場合は、以下の自由記述欄に記載してください。

	目標値 (%)
学部	
大学院	
全体	

ご入力いただいた目標値は、何年度までに達成見込みの目標ですか。

(目標値を設定した年度ではなく、何年度までに達成見込みの目標値であるかという質問です。)

西暦  年度

【自由記述】

### 3 外国人教員について

(1) 貴大学の外国人教員数をご入力ください。

ここでいう、「本務者」と「兼務者」の区別は、学校基本調査の定義を引用しています。  
 非常勤講師として発令されている方は兼務者とします。また、本務・兼務の区別は、原則として辞令面によります。辞令面で区別できない場合は、俸給を支給されている方を本務とし、それ以外は兼務とします。

※ 平成26年11月1日の数値の入力が難しい場合は、国大協事務局までご連絡ください。

	平成26年 5月1日現在			平成26年 11月1日現在		
	外国人 教員数	教員数 (外国人 教員含 む)	(%)	外国人 教員数	教員数 (外国人 教員含 む)	(%)
本務者						
兼務者						

(2) 貴大学の外国人教員の割合の目標値 (%) をご入力ください。

※ 目標値を定めていない場合、あるいは、本務者と兼務者を分けて目標を定めていない場合など、目標値の入力ができない場合は、それぞれの枠に「なし」とご入力ください。

外国人教員 の割合 (%)	目標値 (%)
本務者	
兼務者	
全体	

ご入力いただいた目標値は、何年度までに達成見込みの目標ですか。

(目標値を設定した年度ではなく、何年度までに達成見込みの目標値であるかという質問です。)

西暦  年度

### 4 英語での授業実施科目について

(1) 英語による授業実施科目数をご入力ください。

英語による授業科目数の数え方について  
 ○全ての授業を英語により実施している場合、これを1つの「授業科目」としてカウントします。  
 ○語学としての授業科目は除きます。  
 ○同一授業科目を複数セッション開講している場合、複数授業科目としてカウントします。

【例】

○「統計熱力学」を開講。15回の授業のうち、2回を海外からのゲスト教員により、英語で授業を行った場合は、全てを英語で授業していないため、カウントしない。  
 ○「量子力学Ⅰ」を6セッション開講、うち2セッションは英語、4セッションは日本語で実施した場合、2授業科目としてカウント。

学部  授業科目  
 大学院  授業科目

## 5 その他

### (1) 英語による授業のみで学位が取得できるコース等の設置

※ 一部で実施している場合を含みます。

①留学生のみに限定されているコース等の設置  
1 設置している    2 設置していない

学部	<input type="checkbox"/>
大学院	<input type="checkbox"/>

②留学生のみに限定されていないコース等の設置  
1 設置している    2 設置していない

学部	<input type="checkbox"/>
大学院	<input type="checkbox"/>

### (2) 主に英語による授業を行う特別なプログラム等の設置 (外国人学生向け)

① 1ヶ月未満のプログラム等の設置 (サマープログラム等)  
1 設置している    2 設置していない

学部	<input type="checkbox"/>
大学院	<input type="checkbox"/>

② 1ヶ月以上6ヶ月未満のプログラム等の設置 (交換留学プログラム等)  
1 設置している    2 設置していない

学部	<input type="checkbox"/>
大学院	<input type="checkbox"/>

③ 6ヶ月以上のプログラム等の設置 (交換留学プログラム等)  
1 設置している    2 設置していない

学部	<input type="checkbox"/>
大学院	<input type="checkbox"/>

### (3) 4月以外 of 入学時期の導入 (例えば、秋入学など。一部で実施している場合を含む)

1 導入している    2 導入する予定    3 導入していない

学部	<input type="checkbox"/>	(    年 )
大学院	<input type="checkbox"/>	(    年 )

※「2」を選択した場合は、カッコ内に開始予定の年度と時期をご記入ください。

(回答例：2015年秋)

### (4) 4学期制の導入 (一部で実施している場合を含む)

1 導入している    2 導入する予定    3 導入していない

学部	<input type="checkbox"/>	(    年 )
大学院	<input type="checkbox"/>	(    年 )

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をご記入ください。

(回答例：2015年秋)

### (5) ダブルディグリープログラムの実施 (一部で実施している場合を含む)

1 実施している    2 実施する予定    3 実施していない

学部	<input type="checkbox"/>	(    年 )
大学院	<input type="checkbox"/>	(    年 )

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

(回答例：2015年秋)

(6) ジョイントディグリープログラムの実施（一部で実施予定である場合を含む）

1実施する予定    2実施を検討している    3実施予定はない    学部  (    年 )  
大学院  (    年 )

※「1」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

(回答例：2015年秋)

(7) 国際バカロレア入試の導入（一部で実施している場合を含む）

1導入している    2導入する予定    3導入していない     (    年 )

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

(回答例：2015年秋)

## 6 自由記述（教育の国際化に関する事柄）

※ 複数の事柄がある場合は、箇条書きをする等、テーマ毎に分けて記載してください。

※ 調査結果の取りまとめ及び活用のため、差し支えなければ、どの職位の方のご意見なのか、ご教示いただけたら幸いです。（例えば、理事、課長、係員など。）

【記載例】国際バカロレア入試を導入するにあたりどのような準備が必要なのか情報が不足している。（係長）

（1）対応に苦慮していること等がありましたらご入力ください。（自由記述）

（2）他大学との情報交換を行いたいことがありましたらご入力ください。（自由記述）

（3）国等に要望したいことがあればご入力ください。（自由記述）

ご担当者名（フリガナ）

ご担当部署名

電話番号

E-mail

ご協力ありがとうございました。

【回答方法】 Excelファイルのまま、メールにて返信お願いします。

【回答先】 国立大学協会 企画部 是國、出井  
chosa@janu.jp

【回答期限】 平成27年1月21日（水）17時